

令和8年度 第1回 国分寺市交通安全対策協議会 議事録	
日時	令和8年9月9日（水） 10時00分～11時25分
場所	国分寺市役所3階301会議室
出席委員	1号委員 新藤 和男、宮野 淳正、薄井 芳典、泊口 武久、山口 真 2号委員 丸山 智史、田中 一郎 3号委員 南部 良太、吉富 拓人 4号委員 並木 正彦、青柳 治郎 5号委員 原田 泰彦 （欠席：1号委員 小泉 市郎 2号委員 坂本 敬太 5号委員 栗原 雄三） ※交通安全対策協議会の委員構成について （国分寺市交通安全対策協議会条例 第4条） （委員） 第4条 前条の委員は、次の各号に掲げるもののうちから市長が委嘱する。 ただし、委員が委嘱されたときの要件を欠くに至ったときは、委員の資格を失うものとする。 (1) 識見を有する者 6人以内 (2) 国分寺市立学校長及び私立幼稚園長 3人以内 (3) 国分寺市立学校の児童又は生徒の保護者 2人以内 (4) 警視庁小金井警察署及び東京消防庁国分寺消防署の職員 2人以内 (5) 鉄道事業者の代表者 2人以内
事務局	古谷 隆之（交通課長）、久野 智弘（交通対策担当係長）、鈴木 和樹（交通対策担当）
次第	・交代委員の紹介 ・協議事項 国分寺市交通安全計画（R9～13年度）素案について ・報告事項 次回開催時期について ・その他

○開会

出席委員が委員総数の過半数を超えていることを報告

配付資料確認

1. 交代委員の紹介

青柳 治郎委員、栗原 雄三委員、原田 泰彦委員の紹介

2. 協議事項「国分寺市交通安全計画（R9～13年度）素案について」

○事務局からの説明

計画案は、国分寺市の交通情勢のデータをまとめた第一部と第二部の二部構成になっているため部ごとに説明と質疑を設けた。

・第一部の説明

〈事務局〉

子ども、若年層、65歳以上の高齢者の交通事故の割合が東京都と比較すると国分寺市は高くなっている。また、自転車事故の割合も東京都と比較して高くなっている。そして、小型モビリティについては、市内では所有者が少ない状況だが、今後の普及を考慮する必要がある。

・第一部の質疑

〈吉富委員〉

計画の目標値について、現計画では基準年の事故件数から約5%ずつ減らすとされていたが、次期計画では約2%となっているのはなぜか。

〈事務局〉

近年の事故件数の平均増減率を採用している。現計画時は計算結果が5%であったが、次期計画時は約2%となった。

〈吉富委員〉

「表 11-2 令和7年市内の自転車交通事故当事者の法令違反件数」について、運転操作誤りが現計画時は1件であったが次期計画では50件と大幅に増加しているが理由はあるのか。

〈事務局〉

実際に件数が多くなっているのは確かであるが、市では事故の詳細までは把握できないため、多くなった理由はわからない。

〈並木委員〉

警察に自転車事故を届け出る件数は増加傾向にある。おそらく、交通事故の保険を利用

するために、これまでは届出しなかったような軽微な単独事故でも警察へ届出をする方が増えたのではないかと考えられる。

- 第二部の説明

- 〈事務局〉

次期計画は、令和8年度4月に策定された「東京都交通安全計画」に則って作成しているが、第一部で説明した市内の交通事故の傾向から、特に対策が必要なものを重点課題としている。重点課題については、3の「自転車の安全利用の促進」にて、東京都作成の交通安全学習アプリである「輪トレ」及び「自転車の交通違反に対して交通反則通告制度（青切符制度）」を追加している。また、重点課題4「特定小型原動機付自転車を始めとする小型モビリティの安全対策」を新規で追加している。

- 第二部の質疑

- 〈南部委員〉

計画の自転車マナーに関連してお願いしたいことが3点ある。1つ目は、第二小学校の東側の三叉路について日頃見守りを実施しているが、自転車が歩道を渡っている生徒の目の前を横切る等危険な走行をしている。是非とも警察の方に指導をしていただきたい。2つ目は学区内で交通事故が起こった際に、学校に情報を共有してもらいたい。そうすれば、子どもたちへの注意を促せる。交通事故情報には個人情報が多く含まれるのは承知しているので、そういった情報を含まない形で事故の概要だけでも教えてもらいたい。3つ目は、宅地開発の工事が通学時間帯に行われていることがある。狭い生活道路上に工事車両が入ると、通学する生徒に危険が及ぶ可能性があるため指導してもらいたい。

- 〈会長〉

たしかに、学区内で交通事故があった際に学校に情報共有することは大事と考えられる。

- 〈吉富委員〉

P25の「地域における交通安全意識の向上」において、現計画にある学校安全連絡会の記載が次期計画案には記載がないのはなぜか。

- 〈事務局〉

学校安全連絡会は、各学校の判断で開催されるものなので、計画に記載することは控えた。

- 〈吉富委員〉

中学生の安全教育について、部活動の地域展開が始まっているので、自転車で生徒が移動することが多くなっている。スケアードストレイト交通安全教室を中学生に対して行

っているのは承知しているが、生徒への自転車乗車ルールの徹底をしてもらいたい。

〈会長〉

交通ルールや交通環境の変化に合わせた指導等をしてもらえたらと考える。

3. 報告事項 次回開催時期について

〈事務局〉

今回は、令和9年2月頃に開催を予定している。現委員の任期が令和9年1月までなので、今回は改選後のメンバーで開催することになる。

4. その他

〈会長〉

小金井警察署並木委員、最近の交通安全の状況はいかがか。

〈並木委員〉

・小金井警察署管内の交通事故は、昨年度から大幅に減少している。特に、高齢者が乗車する自転車の事故が減少している。これは、4月からの自転車に対する取り組みが影響していると思われる。

・中学生以下の子どもが関与する怪我があった事故も数自体は減っている。しかし、怪我がなかった事故は例年と変わらない。自転車に乗っていて第一当事者となっている案件が多かった。また、交差点での飛び出しなどの事故も多かった。キックスケーターを道路で利用して事故になった件もあった。学校を通した子どもへの指導を行っていききたい。

・生活道路における速度規制が変わった。安全に車両を利用してもらいたい。

・酒酔い運転の数値が定められた。

・令和9年に新府中街道が五日市街道まで開通することで、交通環境への変化があると思われるので、状況を注視していきたい。

・特定小型原動機付自転車について、近隣市でレンタル事業の展開がみられる。

・事故の情報の学校への共有については、毎日多くの案件が発生しているので、すべてを伝えることは難しい。もちろん重大な事故は情報共有する。駐在所や交番にお尋ねいただければ周辺での事故情報を伝えることはできるので、そういった方法で対応していきたい。

・工事車両の道路使用については、違反があれば現場確認し、事業者を指導しているので今後も対応していきたい。発見次第通報をお願いしたい。

・中学生への自転車教室については、学校・教育委員会等でそういう場があれば協力していきたい。なかなかそのような時間を確保するのが難しいという方のために、東京都アプリである「輪トレ」がある。シミュレーション形式でちゃんとルールが学べるもの

になっているので、利用してもらいたい。

〈事務局〉

①委員報酬について

※書類提出のお願い。

〈会長〉

9月12日に国分寺市いずみホールにて「交通安全市民のつどい」が開催される。興味がある方は顔を出して欲しい。私は、今回で委員としては最後の務めとなる。次期の委員となる方は、様々な意見を持って会議に臨んで欲しい。

○閉会

以上